

「最近の機械貿易動向(1月)～機械輸出額 15ヶ月連続減少～」

日本機械輸出組合 2020.3.12

2020年1月の機械輸出額は3兆4,128億円、対前年同月比3.8%減と、15ヶ月連続で前年同月比減少した。これは、①韓国・台湾、その他地域向け以外の4地域向けで前年同月比減少したこと、②21業種中13業種が減少したことなどによる。為替・営業日要因が8.9%の減少寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は5.6%増となった。2020年2月の為替・営業日要因は3.0%の増加寄与要因となっているが、3月6日発表の貿易統計速報によれば2月上中旬の全商品輸出は0.8%減であった。

I 要約

1. 全商品貿易動向(図表1)

- ① 全商品輸出額:5兆4,312億円(前年同月比 [以下同じ] 2.6%減、14ヶ月連続減少)
- ② 全商品輸入額:6兆7,444億円(3.5%減、9ヶ月連続減少)
- ③ 貿易収支:1兆3,132億円の赤字

2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向(図表2)

- ① 機械輸出額:3兆4,128億円(3.8%減、15ヶ月連続減少)
為替・営業日要因を除いた実質的伸び率:5.6%増(5ヶ月ぶり増加)
- ② 機械輸入額:2兆939億円(5.8%減、4ヶ月連続減少)

(2) 為替・営業日動向

2020年1月に8.9%の減少要因、2月に3.0%の増加要因、3月に1.7%の増加要因。

(3) 地域別動向

- ① 韓国・台湾、その他地域向けを除き、4地域向けで前年同月比減少(図表4、5)
- ② 北米向け:7.9%減、6ヶ月連続減少(図表4、5)
- ③ 中国向け:2.3%減、2ヶ月ぶり減少(図表4、5)
- ④ ASEAN・南アジア向け:6.6%減、13ヶ月連続減少(図表4、5、6、8、9)
- ⑤ EU向け:8.3%減、6ヶ月連続減少(図表4、5)
- ⑥ 韓国・台湾向け:0.4%増、3ヶ月連続増加(図表4、5、6、7)
- ⑦ その他地域向け:5.4%増、4ヶ月ぶり増加(図表4、5、10)

(4) 業種別動向(図表11)

上位21業種中8業種が増加。そのうち船舶・鉄道車両が二桁の伸び

(5) 機種別動向(図表12、13)

- ① 船舶(その他地域、ASEAN・南アジア向け中心)、鉄道車両(中国、その他地域、ASEAN・南アジア向け中心)等が大きくプラス
- ② 携帯電話、通信機械部分品、建設機械、工作機械等が大きく減少

(6) 機械輸入動向(図表14)

機械輸入額上位12機種のうち、電子計算機、乗用車、受信変換その他送受信機器の3機種が増加

II トピックス

1. 【中国】2019年のスマホ出荷台数が前年割れ。5G スマホの普及に期待

2019年の中国のスマホ出荷台数は、前年比7.5%減の3億6,670万台と低迷した。3年連続で前年割れとなった。首位のファーウェイは1億4,000万台を出荷し、シェアは38.3%で前年から大きく増加した(ファーウェイは出荷台数を増加させた唯一の主要メーカーとなった)。次いで、Vivo(18.1%)、Oppo(17.1%)の順となった。

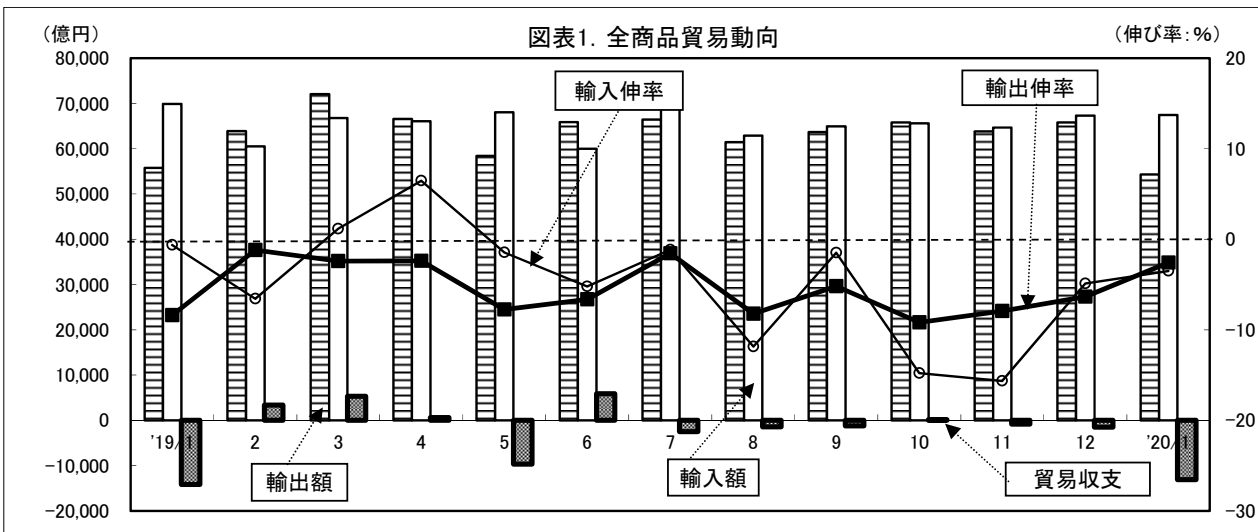
中国では、すでに5G 商用サービスが始まっており、世界の5G 市場をリードする。ファーウェイは8機種 of 5G スマホを発売、690万台以上を出荷した。同社は基幹部品の半分近く of 国産化を達成している。2020年には主要機種をすべて5G 化する計画である。また、小米、Vivo、Oppo も5G スマホを投入している。小米は2,000元以下の格安5G スマホを発表し、注目を集めた。さらに、家電メーカーのハイセンスなど他業種の参入も相次いでいる。この他、出遅れているアップルの5G 端末の発売も注目される。

2020年は5G シフトが一気に加速すると期待されているが、新型コロナウイルスの感染拡大が大ききリスクとなっている。サプライチェーンや販売チャンネルが長期的に影響を受ける可能性もあり、2020年第1四半期のスマホ販売が前期比で5割近く減少するとの分析もある。

Ⅲ 個別動向

1. 全商品貿易動向～輸出は14ヶ月連続で減少、輸入は9ヶ月連続減少～

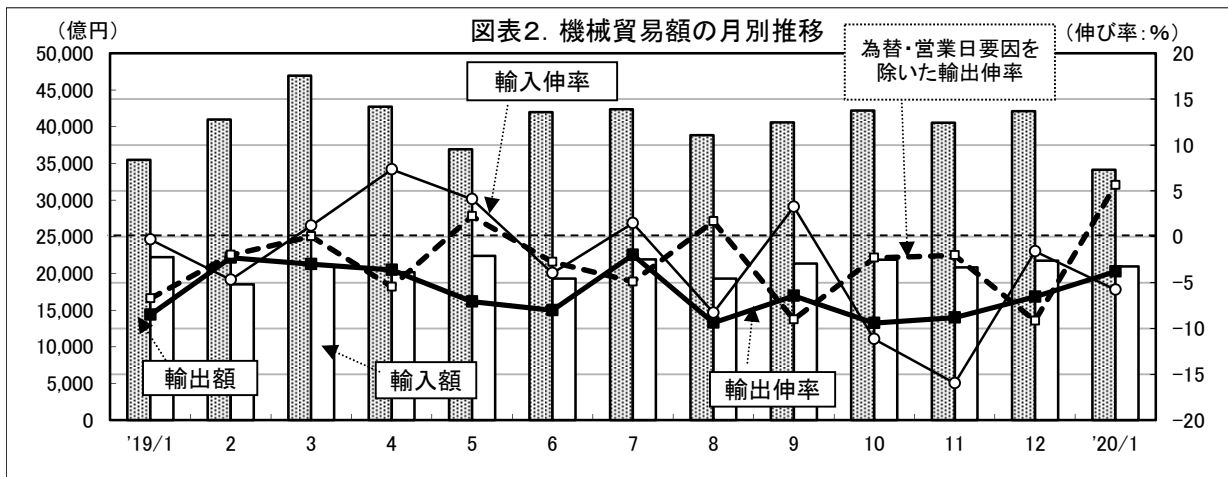
- 1) 2020年1月の全商品輸出額は**5兆4,312億円**、前年同月比(以下同じ)**2.6%減**と14ヶ月連続で減少した(12月6.3%減)。これは、約25%を占める輸送用機器(2.1%減)をはじめ、約18%を占める一般機械(9.5%減)、約17%の電気機器(1.1%減)、約12%のプラスチック等化学製品(4.5%減)、鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(1.9%減)等が減少したためである。
- 2) 輸入額は**6兆7,444億円**、**3.5%減**と9ヶ月連続で減少した(12月4.9%減)。これは、全輸入額の約22%を占める原油等鉱物性燃料(3.7%減)をはじめ、約15%の電気機器(8.3%減)、約11%の医薬品等化学製品(8.2%減)、約10%の一般機械(2.9%減)、原料別製品(6.6%減)等が減少したことによる。
- 3) この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、3ヶ月連続で赤字(1兆3,132億円、12月は1,546億円の赤字)となった。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は15ヶ月連続、輸入は4ヶ月連続で減少～

- 1) 全商品輸出額の約63%を占める1月の機械輸出額は**3兆4,128億円**、**3.8%減**と15ヶ月連続で減少し(12月6.5%減)、その水準は、リーマンショック前(2008年1月)と比べると**78.0%**となって、前月に比べて4.3ポイント悪化した(12月82.3%)。なお、為替・営業日要因を除いた**実質的伸び率は5.6%増**であった。
- 2) 一方、全商品輸入額の約31%を占める機械輸入額は、**2兆939億円**、**5.8%減**と4ヶ月連続で減少し(12月1.6%減)、リーマンショック前(2008年1月)の水準に比べ、22.0%増となっている。

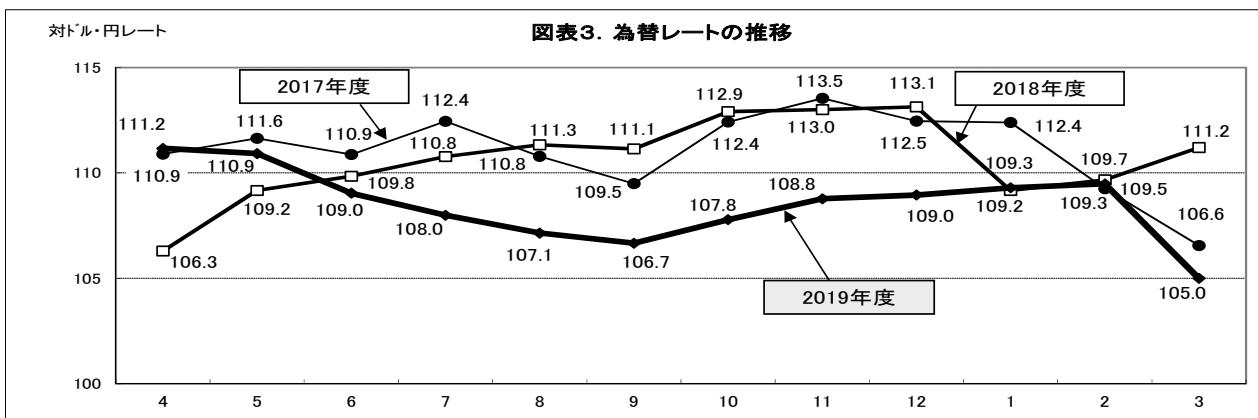


(2) 為替・営業日動向～1月は5.6%の増加要因、2月は3.0%の増加要因～

1) 2020年1月は1ドル=109.3円となり、前年に比べ0.1%の円安となった。また、対ユーロは121.8円と前年に対して2.6%の円高となり、合わせて約0.1%の為替減少要因となった。営業日は前年と同じであるが、中華圏における春節の影響を考慮すると、約8.8%の減少要因となり、合わせて約8.9%の減少要因となる。1月の輸出額は3.8%減であったことから、実質的伸び率は5.6%増と5ヶ月ぶりに前年同月比増加となった(12月9.2%減)。

2) 2020年2月は1ドル=109.5円で前年比0.2%の円高、対ユーロは120.5円で前年比3.5%の円高となり、合わせて約0.3%の為替減少要因となった。営業日は前年に比べて1日少ないこと及び中華圏における春節の影響を考慮すると、約3.3%の増加要因となり、合計で約3.0%の増加要因となる。

3) 2020年3月は、対ドルが3月11日17:00時点の105.0円とすれば、前年比5.6%の円高、また、対ユーロは118.9円で5.5%の円高となり、合わせて約3.1%の為替減少要因となる。営業日は前年に比べて1日多いため、約5.0%の増加要因となり、合計で約1.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～韓国・台湾、その他地域向けを除き、4地域向けで前年同月比減少～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、①全体の25.3%を占める北米向けでは、約49%を占める自動車(11.5%減)をはじめ、約13%を占める産業機械(7.8%減)、航空機部品(4.0%減)等が減少し、7.9%減となった。②19.7%を占める中国向けでは、自動車(3.2%増)が増加したものの、産業機械(3.0%減)、電子デバイス(4.9%減)等が減少して2.3%減となり、③14.9%のASEAN・南アジア向けは、フィリピン(7.9%増)、ベトナム(6.8%増)向けが増加したものの、シンガポール(18.0%減)、インドネシア(17.2%減)、パキスタン(35.3%減)向け等が大きく減少し、業種でも、自動車(4.9%減)、産業機械(4.9%減)、電子デバイス(2.3%減)、重電気機械(11.9%減)、船舶(29.1%減)等が減少して6.6%減となった。④13.0%を占めるEU向けは、39%を占める自動車(8.2%減)をはじめ、産業機械(7.7%減)、軽機械(3.3%減)、建設機械(30.3%減)等が減少して8.3%の減少となり、⑤9.9%を占める韓国・台湾向けは、産業機械(6.4%減)、自動車(3.2%減)等が減少したものの、電子デバイス(22.0%増)等が大きく増加し、また、韓国(11.6%減)向けが減少したものの、台湾(12.1%増)向けが増加して0.4%増となった。⑥17.2%のその他地域向けでは、ロシア東欧等(8.2%減)向け等が減少したものの、アフリカ(18.8%増)、大洋州(16.7%増)向け等が増加し、業種でも、産業機械(17.6%減)等が減少したものの、自動車(6.8%増)、船舶(28.7%増)等が増加して5.4%の増加となった。

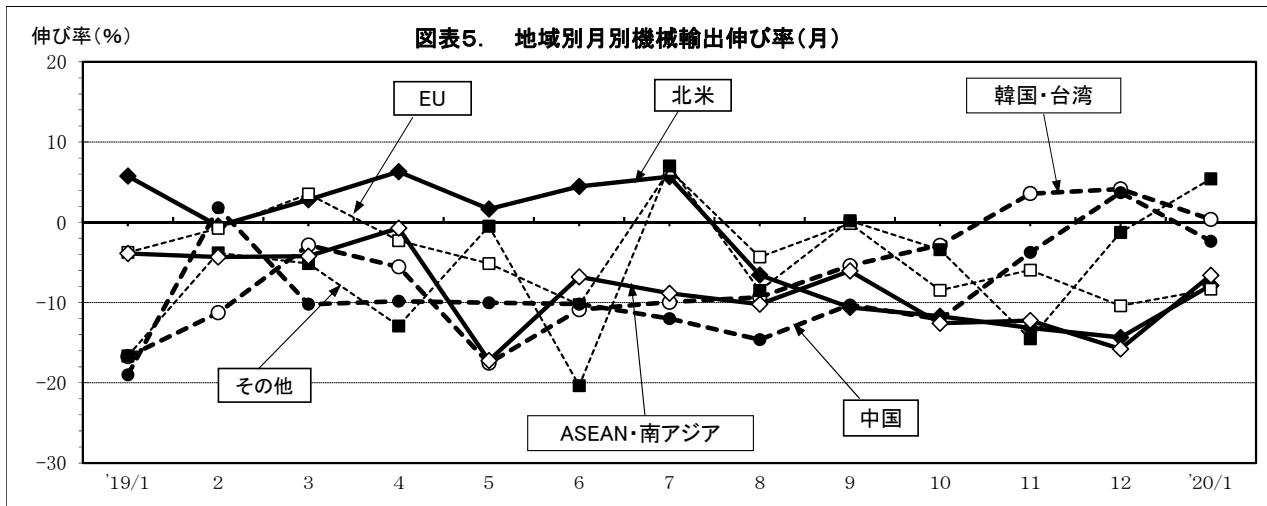
2) また、リーマンショック前の2008年1月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジア、中国向けが90%台、北米向けが80%台、韓国・台湾向けが70%台、その他地域向けが60%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円、%)

| | 2019/11 | | | 2019/12 | | | 2020/1 | | | 対08年 1月比 |
|------------|---------|--------|-------|---------|--------|-------|--------|-------|-------|-------------|
| | 金額 | 伸び率 | シェア | 金額 | 伸び率 | シェア | 金額 | 伸び率 | シェア | |
| 全世界計 | 40,556 | ▲ 8.8 | 100.0 | 42,099 | ▲ 6.5 | 100.0 | 34,128 | ▲ 3.8 | 100.0 | 0.78 |
| 北米 | 10,002 | ▲ 13.2 | 24.7 | 10,134 | ▲ 14.4 | 24.1 | 8,630 | ▲ 7.9 | 25.3 | 0.80 |
| 中国 | 9,546 | ▲ 3.8 | 23.5 | 10,334 | 3.7 | 24.5 | 6,727 | ▲ 2.3 | 19.7 | 0.97 |
| ASEAN・南アジア | 6,058 | ▲ 12.2 | 14.9 | 5,784 | ▲ 15.8 | 13.7 | 5,093 | ▲ 6.6 | 14.9 | 0.99 |
| EU | 4,799 | ▲ 6.0 | 11.8 | 5,293 | ▲ 10.4 | 12.6 | 4,436 | ▲ 8.3 | 13.0 | 0.59 |
| 韓国・台湾 | 4,118 | 3.6 | 10.2 | 4,277 | 4.2 | 10.2 | 3,387 | 0.4 | 9.9 | 0.78 |
| その他 | 6,032 | ▲ 14.5 | 14.9 | 6,276 | ▲ 1.3 | 14.9 | 5,855 | 5.4 | 17.2 | 0.66 |

は、2ヶ月連続で前年比10%以上増加。

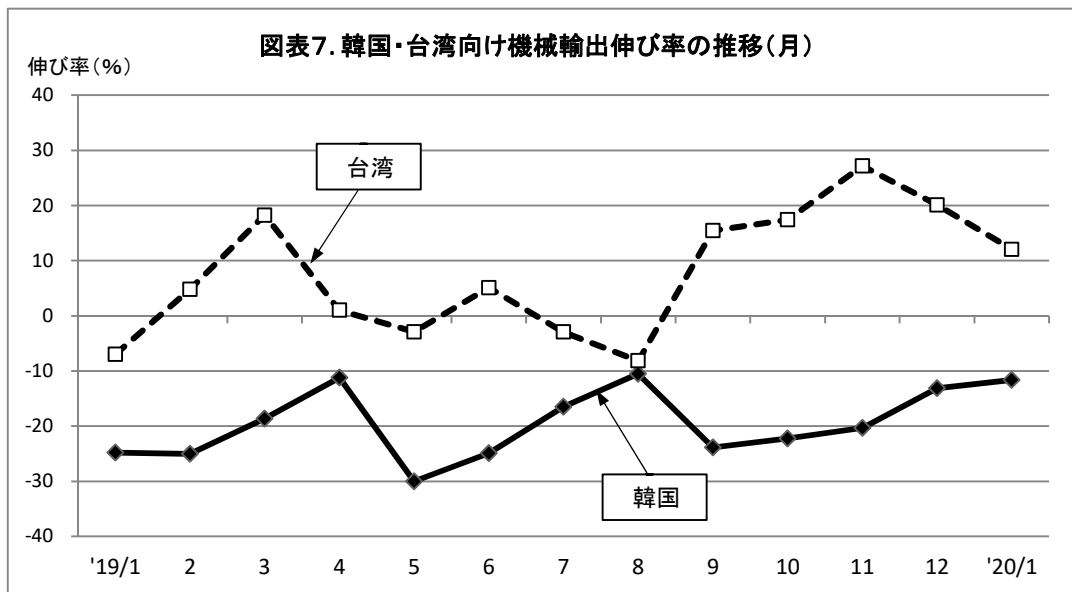


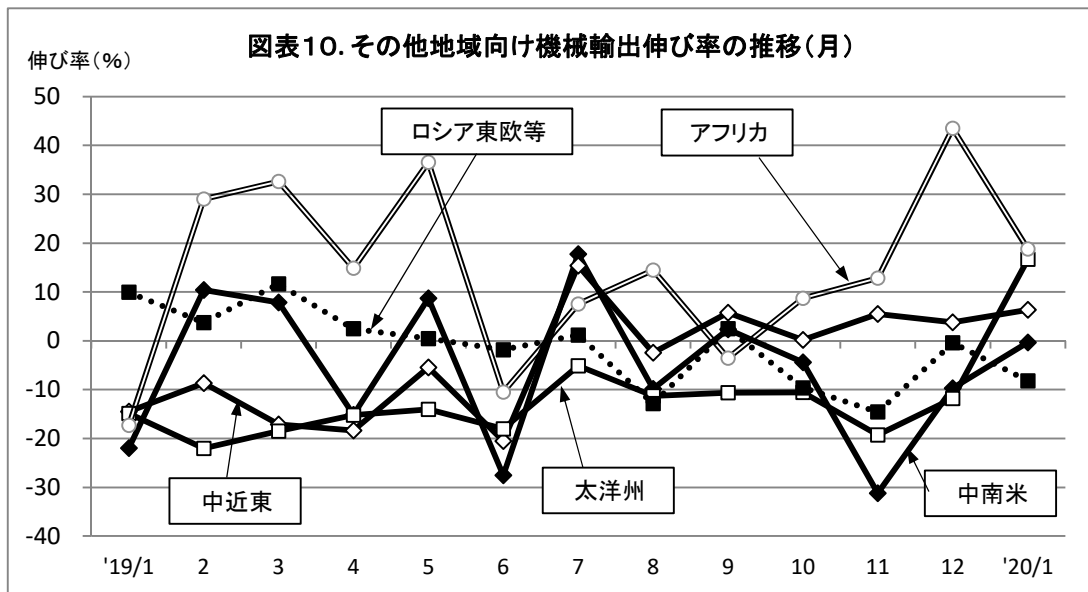
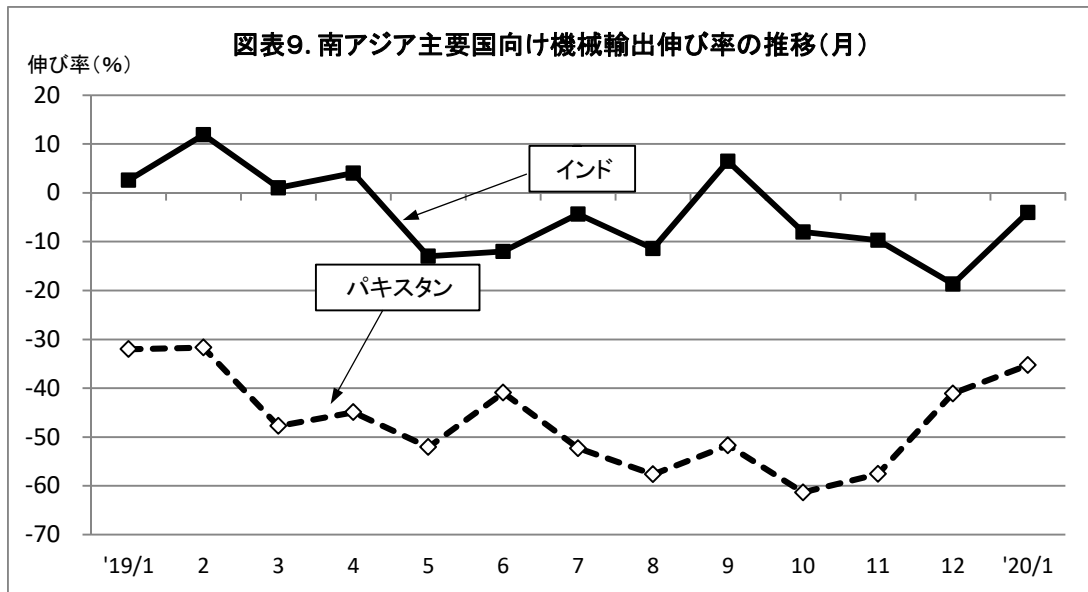
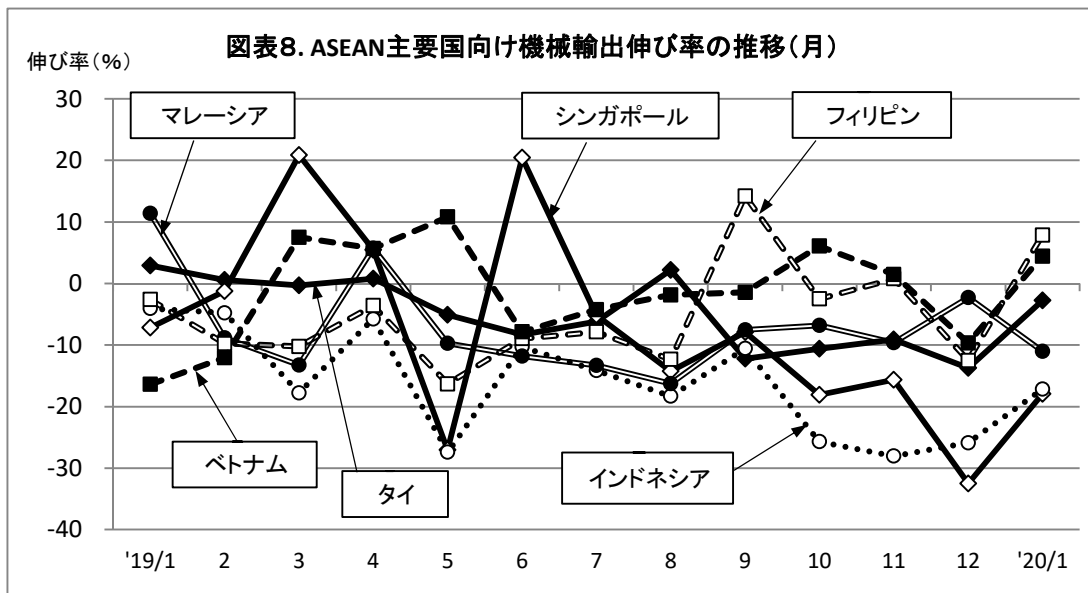
図表6. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

| 国名 | 2019/10 | | 2019/11 | | 2019/12 | | 2020/1 | |
|-------------------|---------|--------|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 | 金額 | 伸び率 |
| 韓国 | 1,628 | ▲ 22.2 | 1,575 | ▲ 20.3 | 1,713 | ▲ 13.1 | 1,472 | ▲ 11.6 |
| 台湾 | 2,348 | 17.4 | 2,543 | 27.2 | 2,564 | 20.1 | 1,915 | 12.1 |
| ASEAN・南アジア | | | | | | | | |
| タイ | 1,585 | ▲ 10.6 | 1,636 | ▲ 9.1 | 1,609 | ▲ 13.7 | 1,338 | ▲ 2.8 |
| シンガポール | 875 | ▲ 18.1 | 952 | ▲ 15.7 | 763 | ▲ 32.5 | 796 | ▲ 18.0 |
| インドネシア | 775 | ▲ 25.7 | 670 | ▲ 28.0 | 668 | ▲ 25.9 | 587 | ▲ 17.2 |
| マレーシア | 663 | ▲ 6.8 | 643 | ▲ 9.6 | 638 | ▲ 2.3 | 552 | ▲ 11.0 |
| フィリピン | 657 | ▲ 2.5 | 661 | 0.8 | 559 | ▲ 12.5 | 545 | 7.9 |
| ベトナム | 887 | 1.5 | 821 | ▲ 9.6 | 820 | 4.4 | 618 | 6.8 |
| インド | 465 | ▲ 8.0 | 425 | ▲ 9.7 | 472 | ▲ 18.7 | 426 | ▲ 4.0 |
| パキスタン | 58 | ▲ 61.3 | 53 | ▲ 57.6 | 73 | ▲ 41.1 | 43 | ▲ 35.3 |
| その他地域 | | | | | | | | |
| 中南米 | 2,456 | ▲ 4.4 | 1,654 | ▲ 31.2 | 1,794 | ▲ 9.7 | 1,763 | ▲ 0.4 |
| 中近東 | 1,900 | 0.2 | 1,760 | 5.5 | 1,925 | 3.8 | 1,407 | 6.3 |
| 大洋州 | 1,088 | ▲ 10.5 | 1,101 | ▲ 19.2 | 959 | ▲ 11.8 | 1,132 | 16.7 |
| ロシア東欧等 | 1,160 | ▲ 9.6 | 960 | ▲ 14.6 | 1,036 | ▲ 0.4 | 1,009 | ▲ 8.2 |
| アフリカ | 669 | 8.7 | 600 | 12.8 | 653 | 43.5 | 622 | 18.8 |

は、2ヶ月連続で前年同月比増加(10%以上)





(4)業種別動向～21業種中 電子デバイス、軽電気機械、船舶等8業種が増加。～

- 1)業種別では、電子デバイス(1.4%増)、軽電気機械(4.3%増)、船舶(16.3%増)をはじめ8業種が増加した(12月は3業種)。そのうち、船舶、鉄道車両(13.5%増)の2業種が二桁の伸びとなり、機械全体では3.8%の減少となった。
- 2)リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、医療機械、軽機械、鉄道車両、ベアリングの5業種となった(12月は6業種)。他方、電子計算機が30%台、民生用電子機械、産業車両が40%台の低い水準にある。

図表11 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

| 業種名 | 2019/11 | | | 業種名 | 2019/12 | | | 業種名 | 2020/1 | | | 対2008/1 比 |
|---------|---------|--------|------|---------|---------|--------|------|---------|--------|--------|------|--------------|
| | 金額 | 伸び率 | シェア | | 金額 | 伸び率 | シェア | | 金額 | 伸び率 | シェア | |
| 自動車 | 14,778 | ▲ 8.0 | 36.4 | 自動車 | 14,552 | ▲ 11.1 | 34.6 | 自動車 | 12,257 | ▲ 4.1 | 35.9 | 0.77 |
| 産業機械 | 7,144 | ▲ 5.9 | 17.6 | 産業機械 | 8,320 | ▲ 4.5 | 19.8 | 産業機械 | 5,633 | ▲ 6.6 | 16.5 | 0.85 |
| 電子デバイス | 3,534 | ▲ 0.4 | 8.7 | 電子デバイス | 3,482 | ▲ 2.7 | 8.3 | 電子デバイス | 3,000 | ▲ 1.4 | 8.8 | 0.82 |
| 軽電気機械 | 2,425 | ▲ 1.3 | 6.0 | 軽電気機械 | 2,532 | ▲ 1.1 | 6.0 | 軽電気機械 | 2,001 | ▲ 4.3 | 5.9 | 0.91 |
| 重電気機械 | 1,960 | ▲ 11.7 | 4.8 | 重電気機械 | 2,170 | ▲ 1.9 | 5.2 | 船舶 | 1,740 | ▲ 16.3 | 5.1 | 0.70 |
| 軽機械 | 1,651 | ▲ 7.8 | 4.1 | 軽機械 | 1,713 | ▲ 9.4 | 4.1 | 重電気機械 | 1,620 | ▲ 1.9 | 4.7 | 0.94 |
| 民生用電子機械 | 1,413 | ▲ 8.0 | 3.5 | 民生用電子機械 | 1,472 | ▲ 8.1 | 3.5 | 軽機械 | 1,310 | ▲ 7.8 | 3.8 | 1.12 |
| 光学機械 | 1,224 | ▲ 2.9 | 3.0 | 光学機械 | 1,345 | ▲ 10.0 | 3.2 | 民生用電子機械 | 1,146 | ▲ 3.2 | 3.4 | 0.43 |
| 船舶 | 1,118 | ▲ 27.2 | 2.8 | 船舶 | 970 | ▲ 1.3 | 2.3 | 光学機械 | 928 | ▲ 3.9 | 2.7 | 0.80 |
| 建設機械 | 734 | ▲ 41.7 | 1.8 | 建設機械 | 861 | ▲ 40.0 | 2.0 | 建設機械 | 787 | ▲ 28.9 | 2.3 | 0.69 |
| 航空機部品 | 731 | ▲ 1.8 | 1.8 | 航空機部品 | 704 | ▲ 2.2 | 1.7 | 航空機部品 | 669 | ▲ 1.8 | 2.0 | 1.74 |
| 工作機械 | 625 | ▲ 15.9 | 1.5 | 工作機械 | 655 | ▲ 17.1 | 1.6 | 工作機械 | 431 | ▲ 26.6 | 1.3 | 0.62 |
| 医療機械 | 570 | ▲ 14.9 | 1.4 | 医療機械 | 587 | ▲ 0.2 | 1.4 | 医療機械 | 387 | ▲ 3.9 | 1.1 | 1.16 |
| 通信機械 | 463 | ▲ 12.4 | 1.1 | 通信機械 | 469 | ▲ 18.5 | 1.1 | 通信機械 | 374 | ▲ 11.4 | 1.1 | 0.49 |
| 電子計算機 | 416 | ▲ 10.5 | 1.0 | 電子計算機 | 435 | ▲ 8.3 | 1.0 | 陸用内燃機関 | 360 | ▲ 9.4 | 1.1 | 0.97 |
| ベアリング | 386 | ▲ 12.5 | 1.0 | 陸用内燃機関 | 397 | ▲ 19.7 | 0.9 | 電子計算機 | 328 | ▲ 2.2 | 1.0 | 0.36 |
| 陸用内燃機関 | 364 | ▲ 22.0 | 0.9 | ベアリング | 383 | ▲ 16.5 | 0.9 | ベアリング | 313 | ▲ 14.2 | 0.9 | 1.02 |
| 農業機械 | 207 | ▲ 6.5 | 0.5 | 農業機械 | 200 | ▲ 3.8 | 0.5 | 農業機械 | 142 | ▲ 8.1 | 0.4 | 0.67 |
| 繊維機械 | 185 | ▲ 28.5 | 0.5 | 繊維機械 | 177 | ▲ 19.6 | 0.4 | 繊維機械 | 140 | ▲ 3.7 | 0.4 | 0.74 |
| 産業車両 | 74 | ▲ 41.0 | 0.2 | 産業車両 | 84 | ▲ 38.3 | 0.2 | 産業車両 | 86 | ▲ 12.0 | 0.3 | 0.45 |
| 鉄道車両 | 31 | ▲ 75.0 | 0.1 | 鉄道車両 | 33 | ▲ 64.9 | 0.1 | 鉄道車両 | 52 | ▲ 13.5 | 0.2 | 1.07 |
| 21業種合計 | 40,034 | | 98.7 | 21業種合計 | 41,541 | | 98.7 | 21業種合計 | 33,705 | | 98.8 | 0.78 |

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン

・民生用電子機械:デジカメ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD・プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器

・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品

・通信機械:通信機械部分品、受信変換・その他送受信機器

(5)機種別動向～船舶、鉄道車両等が大きく増加、携帯電話、通信機械部分品等が大幅減少～

- 1)10%以上の伸び率を示したのは、①その他地域(パナマ、リベリア、マーシャル等)、ASEAN・南アジア(シンガポール等)向け船舶(16.3%増)、②中国、その他地域(カタール)、ASEAN・南アジア(タイ)向け鉄道車両(13.6%増)、③北米、ASEAN・東南アジア(フィリピン)向け、磁気カード・ディスク等(10.6%増)であった。
- 2)一方、最も落ち込み幅が大きいのが、携帯電話(45.8%減)、通信機械部分品(30.7%減)、建設機械(28.9%減)、工作機械(26.6%減)等であった。

図表12. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

| 2019/11 | | | 2019/12 | | | 2020/1 | | |
|---------|-----|--------|----------|-------|---------|-------------|-------|--------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 |
| 医療機械 | 570 | 14.9 | 原動力機械 | 491 | 52.1 | 船舶 | 1,740 | 16.3 |
| 機種合計 | 570 | * 1.4% | 半導体製造装置 | 2,635 | 25.8 | 鉄道車両 | 52 | 13.6 |
| | | | その他の光学機器 | 1,189 | 16.2 | 磁気カード・ディスク等 | 101 | 10.6 |
| | | | 電動機 | 214 | 12.9 | 機種合計 | 1,893 | * 5.5% |
| | | | 機種合計 | 4,529 | * 10.8% | | | |

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

通信機械部分品:ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信機器:ルーター、LANスイッチ等ネットワーク関連機器

図表13. 減少率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位:億円、%)

| 2019/11 | | | 2019/12 | | | 2020/1 | | |
|-------------|-------|--------|-------------|-------|--------|-------------|-------|--------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 | 機種名 | 金額 | 伸び率 |
| 鉄道車両 | 31 | ▲ 75.0 | 鉄道車両 | 33 | ▲ 64.9 | 携帯電話 | 13 | ▲ 45.8 |
| 建設機械 | 734 | ▲ 41.7 | 建設機械 | 861 | ▲ 40.0 | 通信機械部分品 | 104 | ▲ 30.7 |
| 産業車両 | 74 | ▲ 41.0 | 携帯電話 | 22 | ▲ 38.5 | 建設機械 | 787 | ▲ 28.9 |
| 写真機の部分品・附属品 | 96 | ▲ 30.5 | 産業車両 | 84 | ▲ 38.2 | 工作機械 | 431 | ▲ 26.6 |
| 通信機械部分品 | 131 | ▲ 29.8 | 通信機械部分品 | 139 | ▲ 26.1 | 写真機の部分品・附属品 | 62 | ▲ 24.9 |
| 繊維機械 | 185 | ▲ 28.5 | 写真機の部分品・附属品 | 78 | ▲ 25.2 | 金属加工機械 | 160 | ▲ 21.2 |
| 船舶 | 1,118 | ▲ 27.2 | TV | 114 | ▲ 20.6 | 時計 | 57 | ▲ 20.0 |
| 携帯電話 | 20 | ▲ 24.8 | 陸用内燃機関 | 397 | ▲ 19.7 | ペアリング | 313 | ▲ 14.2 |
| TV | 102 | ▲ 23.3 | 繊維機械 | 177 | ▲ 19.6 | 産業車両 | 86 | ▲ 12.0 |
| 産業用ロボット | 132 | ▲ 22.7 | 産業用ロボット | 141 | ▲ 18.3 | TV | 90 | ▲ 11.7 |
| 機種合計 | 2,623 | * 6.5% | 機種合計 | 2,046 | * 4.9% | 機種合計 | 2,103 | * 6.1% |

は、2ヶ月連続で減少率上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～上位12機種のうち乗用車等3機種が増加～

- 1) 1月の機械輸入伸び率は5.8%減と4ヶ月連続で減少した。上位12機種のうち3機種が前年同月に比べて増加し、そのうち乗用車(28.6%増)、受信変換その他送受信機器(16.6%)の2機種が二桁の増加となった。減少したのは、電子デバイス(3.0%減)、携帯電話(38.9%減)、自動車部品(12.4%減)、白物家電(1.9%減)等9機種であった。
- 2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は金額順に電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、受信変換その他送受信機器、白物家電、医療機械、配電機器、TV、時計、デジカメ・ビデオ、通信機械部分品の11機種となっている。
- 3) 地域別機械輸入額は、全体の43%を占める中国(9.5%減)、ASEAN・南アジア(2.6%増)、EU(0.8%減)、北米(10.3%減)、韓国・台湾(4.7%減)、その他地域(2.0%減)の順であった。

図表14. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

| 2019/11 | | | | 2019/12 | | | | 2020/1 | | | |
|------------|--------|--------|------|------------|--------|--------|------|------------|--------|--------|------|
| 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア | 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア | 機種名 | 金額 | 伸び率 | シェア |
| 電子デバイス | 1,993 | ▲ 20.0 | 9.6 | 電子デバイス | 2,196 | ▲ 1.8 | 10.1 | 電子計算機 | 2,205 | 1.4 | 10.5 |
| 電子計算機 | 1,991 | ▲ 4.8 | 9.6 | 電子計算機 | 2,078 | 4.2 | 9.6 | 電子デバイス | 2,121 | ▲ 3.0 | 10.1 |
| 携帯電話 | 1,677 | ▲ 43.3 | 8.1 | 航空機・部品等 | 1,896 | ▲ 2.8 | 8.7 | 携帯電話 | 1,333 | ▲ 38.9 | 6.4 |
| 乗用車 | 1,202 | ▲ 15.3 | 5.8 | 携帯電話 | 1,578 | 21.0 | 7.3 | 自動車部品 | 1,138 | ▲ 12.4 | 5.4 |
| 自動車部品 | 1,094 | ▲ 22.6 | 5.3 | 乗用車 | 1,280 | 12.9 | 5.9 | 乗用車 | 1,044 | 28.6 | 5.0 |
| 航空機・部品等 | 1,023 | ▲ 7.9 | 4.9 | 自動車部品 | 984 | ▲ 18.4 | 4.5 | 白物家電 | 765 | ▲ 1.9 | 3.7 |
| 白物家電 | 740 | ▲ 13.4 | 3.6 | 白物家電 | 688 | ▲ 9.7 | 3.2 | 航空機・部品等 | 746 | ▲ 31.6 | 3.6 |
| 受信変換その他送受信 | 704 | 6.1 | 3.4 | 医療機械 | 683 | ▲ 7.6 | 3.1 | 受信変換その他送受信 | 746 | 16.6 | 3.6 |
| 医療機械 | 685 | ▲ 13.9 | 3.3 | 受信変換その他送受信 | 673 | 10.7 | 3.1 | 医療機械 | 651 | ▲ 7.3 | 3.1 |
| 配電機器 | 595 | ▲ 11.2 | 2.9 | 配電機器 | 576 | ▲ 8.7 | 2.7 | 配電機器 | 629 | ▲ 5.8 | 3.0 |
| コンデンサー等部分品 | 411 | ▲ 5.2 | 2.0 | コンデンサー等部分品 | 431 | 7.4 | 2.0 | コンデンサー等部分品 | 407 | ▲ 5.8 | 1.9 |
| その他の配電制御装置 | 362 | ▲ 14.9 | 1.7 | その他の配電制御装置 | 400 | ▲ 0.8 | 1.8 | その他の配電制御装置 | 402 | ▲ 2.6 | 1.9 |
| 12機種合計 | 12,477 | | 59.9 | 12機種合計 | 13,463 | | 61.9 | 12機種合計 | 12,187 | | 58.2 |

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電:民生用電気機械

・受信変換その他送受信機器:ネットワーク関連機器 ・その他の配電制御装置:スイッチ、配電盤、制御盤等